

# 新潟県 公民館月報

KOMINKAN GEPPPO

8

August 2016  
No.762



## 第34回能生地域対抗駅伝競走大会(糸魚川市)

小学生から一般まで8区間約22kmを櫓でつなぎ、地域と世代の垣根を越えた交流と親睦を深めています。

## 4~5 特集 写真で見る県大会・妙高市大会

### CONTENTS

- |   |                  |                                                                                                                |
|---|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2 | トピックス            | 本紙 第1回編集委員会開催                                                                                                  |
| 3 | 視点<br>ひろば<br>掲示板 | 「百見は一体験に如かず？」新潟県小中学校PTA連合会 事務局長 山下あい子<br>「まだまだ人生挑戦中」聖籠町社会教育委員 藤間 殖<br>「第38回全国公民館研究集会神奈川大会 第57回関東甲信越静公民館研究大会」開催 |
| 6 | 実践記録シリーズ         | 「日本語交流教室 参加者募集中」南魚沼市 牛木 治                                                                                      |
| 7 | サークル交流<br>素顔拝見   | 「手作りを楽しさいっぱい」(新発田市) / 「笑って楽しくピンポンで」(上越市)<br>石倉 泰さん(佐渡市) / 斎藤 祐之さん(阿賀町)                                         |
| 8 | お元気ですか<br>ネットワーク | 「趣味と特技を生かして地域と関わる」妙高市・望月 志伸さん                                                                                  |

## TOPICS

## 本紙 第1回編集委員会開催

本紙の第1回編集委員会が、7月7日(木)に新潟市中央公民館で開催されました。

〈出席委員7/8名出席〉  
小林 朋広(県推進センター)  
丸山 聖乃(上越市)  
高橋 達也(柏崎市)  
伊藤 英策(新発田市)  
鴨井 理紗(新潟市)  
伊藤 義則(新潟市)  
田原 理(事務局)



熱心な協議

本年度の第1回目の会議であり、委員定数8人中、新委員が6名であることから

1 自己紹介  
2 編集の基本について説明を

行いました。その後、後期の編集について協議と意見交換を行いました。

紙面の構成と原則

〈表紙〉

- ・カラー印刷を継続する。
- ・公民館の活動写真が原則。
- ・人物が写っていること。

〈トピックス〉

- ・編集長が執筆

〈視点〉

- ・県内の公民館等の関係者を選抜する。専門的立場の意見を掲載する。

〈実践シリーズ〉

- ・県内の公民館事業等で成果を上げている実践を選抜して紹介する。

〈特集〉

- ・年間計画により掲載する。

〈ひろば〉

- ・市町村の公運審委員を中心に掲載する。

〈お元気ですか〉

- ・現職を退職した後、元気に様々な活動をしている人が執筆、掲載する。

〈その他〉

- ・掲示板、ネットワーク等は編集長が執筆する。

紙面構成については、2月に行われた第2回編集委員会で現状を継続することになっています。

協議の主な意見

- ・新人ですが、毎月の月報で勉強させてもらっています。
- ・読みやすいと思います。
- ・月によっては同一市町村で執筆者や記事が重なることがあるので調整した方がよい。

執筆順の他に、「視点」とか「実践シリーズ」とかの掲載が重なることは避けた方がよい。

- ・編集後記(事務局長のつづき)は読む楽しみがある。

各市町村の執筆割当については委員全員でチェックして次のとおりになりました。

〈公民館月報原稿執筆割当〉  
期間：平成28年10月～  
平成29年9月

## 公民館月報原稿執筆割当一覧

平成28年10月～29年9月

| 月 号     | 表 紙   | ひろば   | サークル交流 |       | 素顔拝見  |       | お元気ですか |
|---------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|
| H28年10月 | 佐 渡 市 | 南魚沼市  | 五 泉 市  | 小千谷市  | 粟島浦村  | 関 川 村 | 見 附 市  |
| 11月     | 新 潟 市 | 胎 内 市 | 聖 籠 町  | 出雲崎町  | 加 茂 市 | 妙 高 市 | 柏 崎 市  |
| 12月     | 阿 賀 町 | 十日町市  | 弥 彦 村  | 胎 内 市 | 阿賀野市  | 魚 沼 市 | 五 泉 市  |
| H29年1月  | 村 上 市 | 田 上 町 | 新 潟 市  | 長 岡 市 | 新発田市  | 上 越 市 | 佐 渡 市  |
| 2月      | 阿賀野市  | 糸魚川市  | 津 南 町  | 刈 羽 村 | 長 岡 市 | 小千谷市  | 阿 賀 町  |
| 3月      | 粟島浦村  | 新 潟 市 | 柏 崎 市  | 燕 市   | 五 泉 市 | 三 条 市 | 南魚沼市   |
| 4月      | 魚 沼 市 | 新発田市  | 阿賀野市   | 十日町市  | 聖 籠 町 | 新 潟 市 | 上 越 市  |
| 5月      | 加 茂 市 | 刈 羽 村 | 糸魚川市   | 関 川 村 | 出雲崎町  | 津 南 町 | 胎 内 市  |
| 6月      | 上 越 市 | 燕 市   | 田 上 町  | 南魚沼市  | 弥 彦 村 | 湯 沢 町 | 新 潟 市  |
| 7月      | 長 岡 市 | 三 条 市 | 村 上 市  | 加 茂 市 | 糸魚川市  | 見 附 市 | 魚 沼 市  |
| 8月      | 関 川 村 | 村 上 市 | 三 条 市  | 新 潟 市 | 柏 崎 市 | 燕 市   | 長 岡 市  |
| 9月      | 湯 沢 町 | 妙 高 市 | 見 附 市  | 新発田市  | 新 潟 市 | 佐 渡 市 | 小千谷市   |

原稿執筆にご協力をお願い致します。

次回(2月)の編集委員会は平成29年2月の予定です。



## 「まだまだ人生挑戦中」

聖籠町社会教育委員  
藤間 殖



仕事を定年退職して十数年、良く会う人に「今は何をしているの?」と声を掛けられます。私は半分笑いながら「もっぱら認知症防止のためのボランティア活動に専念していますよ!!」と答える様にしています。

子どもたちの見守りや趣味を通して地域の人達との交流などは、身体も心もリフレッシュさ

れ、いつまでも活性化される秘訣でもあるように思います。特に子ども達からは大きな元気を貰っています。

近年、行政などの主導による婚活イベントが紹介されていますが、私達の青年期には地域の青年団や四Hクラブなどの活動が活発で、そこに自然と男女の出会いがあり、多くのカップル

## 掲示板 HOT NEWS

大会テーマ 「今、なぜ公民館が必要とされているのか?」～公民館の存在意義を問う～

(1)日時 平成28年8月25日(木)・26日(金)

(2)会場 神奈川県相模原市 全体会場  
相模女子大学グリーンホール  
分科会会場 相模原市内5会場

(3)内容

①基調講演「公民館の本質と役割

## 視点



新潟県小中学校PTA連合会  
事務局長 山下あい子

## 「百見は一体験に如かず?」

この春に中学校で退職し、改めて学校教育を外から見つめながら勤務している。学校では、キャリア教育、食育、特別支援教育、芸術・文化関係など、多方面で公民館と連携しての事業を行っている。公民館からの予算的な支援や多彩な講師派遣もありがたく、また、自由度の高い活動ができることも魅力である。

例えば、昼休みに学校でプロの漫画家から実技指導、発達障がいへの理解を深める相談会、文化祭への地域サークル団体の出演等の取組を行った。地域の公民館の方と一緒に、あれこれと工夫しながら事業を進める面白さを知ることができ、大変幸運であった。

今は、画像や動画が手軽に見られ、それを見ただけで、知っているつもり、簡単にできそうなどと勘違いしてしまう。しかし、自分でやってみると難しい。実際に体験してみても初めて感じた

百見は一体験に如かず?」なのだと思う。

だから、予測の難しい現代社会を生き抜いていくためには、大人も子どもも、多様な活動にトライし、実際に汗を流し、失敗もして、支援されながら成功するという経験を積んでいくことが必要だと思う。

家庭の経済力の二極化が進む中、誰でも参加可能な、多様性のある体験の場や機会を提供できる公民館に対する期待は大きい。公民館が社会福祉団体や学校等ともさらに連携し、子どもも高齢者も、子育て中でも参加しやすい事業やシステムが増えたらありがたい。数年後、あれもこれもと参加できる日が楽しみである。

### 第38回全国公民館研究集会神奈川大会

第57回関東甲信越静岡公民館研究大会 in さがみはら 開催

～地域再生・未来への挑戦～

講師:東京大学教授 牧野 篤 氏

②パネルディスカッション

「公民館が果たす ひとづくり・まちづくり」

③分科会 9会場分散

第9分科会

発表 新潟県代表 阿部 修造氏

(三条市中央公民館)





## 特集

## 写真で見る県大会・妙高市大会

第67回新潟県公民館大会が7月15日(金)、妙高市文化ホールを会場に開催されました。大会の様子は記録写真で紹介します。

## 1 早朝、県内からマイクロバスが続々と



各市町村のマイクロバスが続々と到着しました



朝の受付は大にぎわいです

## 2 開会式

## (1) 主催者挨拶



大会実行委員長あいさつ 山本 毅氏(妙高市公民館長)



大会会長あいさつ 早川寿男氏(県公連会長)

## (2) 来賓

主催者として、新潟県教育委員会・教育次長 高橋和巳氏が、開催地の妙高市副市長 市川達孝氏が歓迎のあいさつを行いました。

来賓は9名の方々を全員紹介しました  
立っているのは新任のNHK新潟支局長  
鈴木 仁氏

## (3) 永年勤続者表彰

10年以上にわたり公民館の発展に寄与した38名(出席25名)に表彰され、記念品が贈られました。

地元の陶芸家 高井 進氏作「妙高焼」  
額入り、大会名プレート付き

## 3 記念講演

講師は、東京大学 教授 牧野 篤氏。まちづくりや高齢化社会と過疎化問題の専門家で、今回の講演ではこれらのことに若者がいかにかわるかという視点で熱のこもった講演をおこないました。日程の関係で十分な講演時間が確保できず、説明用資料をかなり省略するなどしてまとめていただきました。大会終了後のアンケートでは、時間不足を指摘して「もっとお話を聞きたかった」という意見が多くありました。

講演は具体的な事例を多く提示して、大変



熱い語り口 牧野 篤氏



受賞者全員に賞状が授与されました



受賞者代表 外ノ池 一氏のあいさつ

わかりやすい内容で、期待どおりの成果のある講演になりました。

#### 4 昼食 休憩

弁当は、地元の名産品を入れるなど工夫された中身で大好評。



バラエティーな弁当



昼食の様子

休憩中にはエントランスホールで物品販売が行われ賑わいました。ジャズバンドの生演奏も行われ参加者を楽しませました。



物販は地元の名産品



公民館活動から生まれたジャズバンド

#### 5 アトラクション

妙高高原中学校の吹奏楽部・マーチングバンドは圧巻でした。ステージいっぱいには広がって演奏する

ステージドリル演奏に会場から大拍手が送られました。  
中学生が、本大会に出演するのは初めてで歴史的なアトラクションになりました。



動いて演奏 ステージドリル演奏



4人のサクソ ソロ演奏

#### 6 事例発表

主管地を除く3地区からの代表が事例発表を行いました。

近藤文子、久保聡一朗(新潟市代表 新潟市西地区公民館)、牛木 治(中越地区代表 南魚沼市中央公民館)、清田 亮(下越地区代表 阿賀町公民館)



近藤 文子氏



久保聡一朗氏

#### 7 閉会式

##### (1) 大会旗引き継ぎ

来年度の大会は見附市で開催されます。本大会の実行委員長・山本 毅氏から見附市の刈屋正人氏に大会旗が引き継がれました。



引き継ぎ



刈屋正人氏のあいさつ

##### (2) 閉会

予定どおり、15時10分に全日程が終了しました。

上越地区のみなさんありがとうございました。妙高市のみなさんお疲れ様でした。(田原)



牛木 治氏



清田 亮氏

本紙では、新潟市西地区公民館の事例は757号(3月号)の実践シリーズで紹介済みなので、牛木氏と清田氏の発表を順次実践シリーズで紹介します。

221

## 日本語交流教室 参加者募集中

～外国の方々の拠りどころです～

南魚沼市中央公民館・大和公民館

## 実践記録シリーズ

## 【講座の概要・目的】

日本語交流講座は、定住を目的に魚沼地域で暮らす外国人を対象とした日本語や日本の生活習慣を学ぶ教室として、市内2会場で毎週1回づつ行われています。中央公民館(旧六日町)会場は毎週水曜日午後6時より(すこし休講しておりましたが8月より再開される予定です)、大和公民館(旧大和町)会場は毎週木曜日午後1時より開催されています。

地元ボランティアスタッフにより運営される、日本語指導を通して外国人との交流を行なうユニークな講座として地域に欠かせない存在となっています。

## 【日本語交流教室のこれまで】

外国籍のお嫁さんの増加、「国際大学ⅠU」の開校による留学生の増加を背景に南魚沼市を中心とする魚沼地域は人口に占める外国人の居住割合が高い地域となっています。地域で長く暮らすためには欠かせない語学力、特に日本語を学ぶ環境はほとんどなかった魚沼地域、このような背景が生じた結果、地域から日本語を学ぶことへの要求が高まります。一部ボランティアによる教室はあったものの、組織としての活動はなく、議会の働きかけもあり、公民館事業として立ち上がり、平成17年に発足し、10年が過ぎました。

この教室は、10年続いたことで地域における外国から来た人たちの拠り所となり、地域に欠くことのできない事業となりました。

## 【平成27年度教室開催実績】

|       | 開催回数 | 参加者計 | 指導者計 | 指導者数 | 備 考                                |
|-------|------|------|------|------|------------------------------------|
| 六日町教室 | 32回  | 69人  | 75人  | 3名   | 巻寿司講習会、長岡丘陵公園研修旅行、ホームビジット、着物着付け等実施 |
| 大和教室  | 42回  | 250人 | 128人 | 7名   |                                    |
| 合 計   | 74回  | 319人 | 203人 | 10名  | 参加者・指導者数は累計                        |



六日町教室の様子



大和教室の様子

## 【現在までに教室スタッフで行ってきた主な事業等】

| 事業名           | 目的・事業内容等                                                              |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------|
| 料理講習          | 日本料理(海苔巻き、笹だんご等)、ケーキ作り、キムチ作り、フィリピン料理等                                 |
| 一品料理持ち寄りパーティ  | 自分の国の料理を持ち寄り、食事会を開催<br>随時開催                                           |
| 春節祭           | 魚沼市日本語教室と合同で春節祭に合わせ、一品料理をお持ち寄り、食事会・カラオケ・ゲーム等                          |
| 市役所等の手続き説明    | ・住民票(外国人登録証)等の手続き<br>・学校制度、進学、日本語支援(学校で)等の説明会<br>・病院のかかり方講習会          |
| レクリエーション・研修旅行 | ・坂戸山、六万騎山等ハイキング<br>・山菜ハイキング<br>・海水浴(柏崎海岸)<br>・長岡丘陵公園等へのバス研修旅行         |
| ホームビジット等      | ・着物の着付け<br>・お茶会、料理講習、雛祭り                                              |
| 日常生活相談等       | ・高校進学相談、遺産相続等の相談、日常生活相談等々<br>・病院引率                                    |
| 交流会           | ・参加者が再来日時:スキー引率、歓迎会の開催<br>・参加者国訪問:食事会、観光案内<br>・雛祭り会等の行事開催             |
| その他           | ・参加者の出産祝い<br>・AED講習<br>・免許取得のための講習(日本語指導の中で)<br>・視察研修(山形県)<br>・指導者講習会 |

## 【これからの課題は】

この教室を継続させていくために重要なことは指導者養成を行いながら指導者の確保をすることが大切です。そして、市民のみならずただでなく市役所も含め、日本語教室を広く周知することが必要です。この地域で義務教育年齢以外の人たちへの日本語支援はこの教室しかなく、何とか継続し、お互いの文化を理解しながら共生するため国際理解を深めることが大切ではないかと強く感じています。南魚沼市に外国籍の方がいる限りこの教室は欠かせません。

(南魚沼市中央公民館 牛木 治)





## 手作りを楽しむ いっばい

### 藤細工クラブ

平成6年に公民館の講座から生まれたクラブです。21年目で会員23名、豊浦地区公民館で毎週水曜日の夜に活動しています。

藤細工の魅力は、作り上げる楽しさや、作った物を使う楽しさがあります。又、自分が作った作品をプレゼントすると、とても喜んでもらえるので、そういう楽しさもあります。材料の藤は市販の物、最近ではアケビのつる、フルミ、山葡萄の皮なんかを利用してバッグ、財布、人形、お花等を作っています。編み始めると集中して、時



間が立つのも忘れて没頭できます。

秋には地域の文化祭の作品展に1年間の出来栄を発表します。皆さんもバッグやかご作ってみませんか。

新発田市・藤細工クラブ

木滑二十子 記

## 笑って楽しく ピンポンで

### 卓球フレンドリー

勢いよく白球が飛び交う…そんな光景とはかけ離れたピンポンの同好会です。

活動は、月曜午後の2時間。会員は15名ですが、他の行事や体調などで、毎回10名くらいの



上越市新道公民館卓球フレンドリー  
渡辺 裕子 記

参加です。

会のモットーは、まずケガをしない事、無理をせず手の届かない球は諦める事、勝敗には拘らず楽しむ事です。

毎回ボケ防止も兼ねた準備運動から始まり、好プレーには盛大な拍手を、珍プレーには遠慮なく大声で笑い、体全体で楽しんでいます。

この日が楽しみで、故障でプレーができない人でもみんなと笑いたいと顔を見せてくれます。そんな和やかなグループで少しでも健康寿命を延ばせたらと思っています。

佐渡市佐和田地区公民館

主任 石倉 泰さん



今年の4月から配属になった石倉泰(とおる)さんをご紹介します。

世界遺産候補の佐渡鉱山(相川金銀山)のある旧相川町出身。石の蔵(倉)を持つという由緒正しい家系。名字「石倉」は島内で2軒のみ。なんと重い響きでしょうか。石蔵には黄金が満載だったと伝えられているが、真偽のほどは後日の研究調査にお任せ。

さて、ご本人は「石の倉さん」ですが、フットワークは軽快そのもの。佐渡トライアスロンは朝飯前のトレーニング。ホノルル・ニューヨーク・シカゴマラソンは勿論のこと、今年はプラハマラソン(なんとオバマ大統領のノーベル平和賞の講演地)に参加完走。まさに公民館に打って付けの人物。しかるに固定評価(税)・地籍図・登記のエキスパート。

いま彼との話題の中心は老朽廃屋の処分問題。法律の限界を感じますが、真剣に取り組むべき課題(地味な政策なので政治家は尻込み?)でありよく議論しています。

公民館事業はもちろん、佐渡の将来を見据えて大いに議論しています。

「自由議論無くして前進なし」

(佐渡市佐和田地区公民館 本間俊一郎 記)

阿賀町公民館

館長 斎藤 祐之さん

昨年4月から阿賀町公民館に来られた斎藤祐之館長をご紹介します。

館長の活動は、朝出勤してそのまま館内外をぐるりとまわり、ゴミや不要な掲示物がないか、設備はきちんと動くか等々をチェックするところから始まります。

開館時間からは公民館利用者やお問い合わせのお客様に丁寧に應對し、ご自身でコーヒーもお出しすることもあります。また小学生対象のキャンプ事業では火起こしをやってみせるなど、自ら動く館長でもあります。

館長は社会教育課長も併任しているため、生涯学習・スポーツ・文化財と多岐にわたる業務の舵取り役もしています。ともすれば前例を疑うことなく仕事を進めがちな我々職員に対し、さらに充実する内容や効率的な実施方法を求めることもしばしばで、公民館の仕事の質は向上したように思います。

今後も阿賀町公民館長として幅広い活躍を期待しております。

(阿賀町教育委員会社会教育課主任 阿部 泰之 記)

## 素顔拝見

## ネットワーク



県生涯学習推進課 加茂辰也課長あいさつ

## 〈新潟県社会教育団体懇話会(社団懇)開催〉

社団懇総会が7月22日(金)に新潟会館で開催され

ました。

会議の内容は下記のとおりですべて承認されました。

- 1 平成27年度事業、収支決算報告、会計監査報告
- 2 平成28年度役員選出
- 3 平成28年度事業計画、予算

今年度の役員は、任期2年目で前年度役員が全員承認されました。

会長に早川寿男県公連会長



生涯学習協会 平山征夫会長の講演

が県公連が事務局を担当します。  
会議後、研修として講演会が行われました。

## お・元・気・で・す・か

「趣味と特技を生かして地域と関わる」

望月 志伸  
(妙高市)



定年1年前に退職し、現在、悠々自適な第2の人生を謳歌しています。

退職後は、「地域づくり大鹿」という地区公民館の事務局長をしています。

現在、私の住む大鹿地区では、新潟県が行う地域づくり活動の調査が行われており、大学生が調査のため、地域を訪れています。この活動に協力することで、若い皆さんから

元気や刺激を貰っています。

趣味の話になりますが、私は以前から和紙に興味を持っており、15年くらい前から「紙漉き」を始めました。自分で言うのも何ですが、趣味の域を超える腕前(出来栄)になつてきました。今後は、微力ながら市民の皆さんにも広く和紙の魅力を伝えていきたいと思っています。

そのほかにも私は、若い頃

から野球の審判を務めているのですが、こちらも経験年数が30年を超え、長い活動になっていきます。年齢を重ね、身体はキツイのですが、子供たちとの触れ合いは、私を元気にしてくれます。

いずれの活動もこれまで長く、そして、楽しく活動出来たのも家族を始め、職場や地域の理解と協力があつたからこそと思っています。

今後は、家庭を大事にしつつ、地域貢献が出来よう、積極的に地域事業に関わりたいと思っています。

※「お元気ですか」のコーナーは現役をリタイアした方がその後も元気に活動している様子を紹介するコーナーです。

## 道路ふれあい月間

毎年8月は「道路ふれあい月間」です。

『道きれい そんな所は 人きれい』

国土交通省平成28年度「道路ふれあい月間」推進標語最優秀賞(代表標語)  
高橋昂太郎さん(秋田県 湯沢市立皆瀬中学校)の作品

新潟県道路整備協会

会長(田上町長) 佐藤 邦 義

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内

TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609

## 事務局長のつぶやき

先日の日報へ私もひと言欄。「おいお茶 言ってみたいな一度だけ」これに感想寄せた人多数。男性が多く「一度 言ってみたい。今日帰ったら言おう。やっぱり明日に」「おい なんて言ったらつるし上げられ

る」などの反響があつたとか。最近では、亭主閑白などという言葉は死語に等しいとか。同感。ご同輩のお父さん、言ってみていのは気持ちだけにしておきましょう。一時の心の迷いは嵐の元。家庭の平和は大事です。

(田原)